

(仮称)歴史民俗資料展示施設

基本構想(案)

令和6年3月

小牧市

| | |
|---------------------|----|
| 1. <u>基本情報の整理</u> | |
| （1）設置の目的 | 1 |
| （2）候補地の概要 | 1 |
| （3）周辺環境 | 2 |
| （4）ラピオの概要 | 3 |
| 2. <u>展示施設コンセプト</u> | |
| （1）上位概念 | 4 |
| （2）ターゲット | 6 |
| （3）コンセプト | 6 |
| （4）基本方針 | 6 |
| 3. <u>整備方針</u> | |
| （1）改修の方針 | 7 |
| （2）改修概要 | 7 |
| 4. <u>活動方針</u> | |
| （1）施設活動（案） | 8 |
| （2）館内展示場所と連携展示テーマ例 | 9 |
| 5. <u>管理運営方針</u> | |
| （1）管理運営形態 | 10 |
| （2）人員配置 | 10 |
| （3）入館料 | 10 |
| （4）開館時間・休館日 | 10 |

1. 基本情報の整理

(1) 設置の目的

小牧市では、令和4年度に小牧山山頂の小牧山歴史館の展示内容を、これまでの歴史民俗資料を紹介する展示から、戦国時代の小牧山にまつわる展示へと改装を行いました。これに伴い、市内の原始・古代から近現代までの歴史や文化財を紹介するための展示施設をあらたに整備し、小牧市の歴史を市民に伝えて行くことが急務となっています。(仮称)歴史民俗資料展示施設は、郷土の歴史民俗資料を展示・活用し、市民交流の場、学びの場として、郷土愛、シビックプライドを育てて行くことを目的とします。

(2) 候補地の概要

候補場所：小牧市小牧三丁目555番地 ラピオ4階 現市民ギャラリーを改装

設置規模：約200㎡

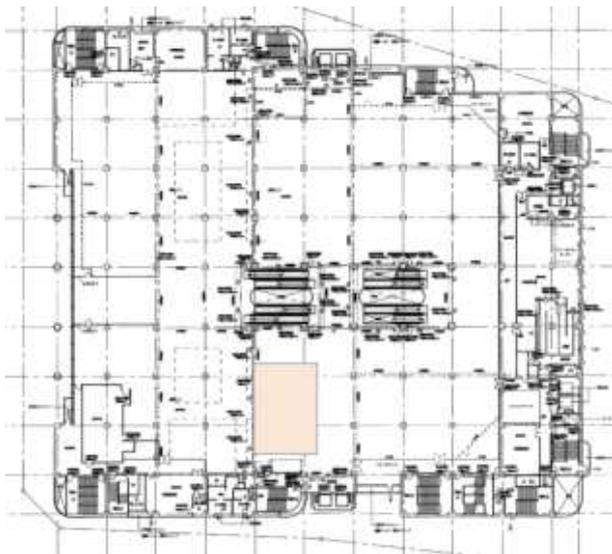
施設全体(ラピオ)管理：小牧都市開発株式会社

所在地



ラピオ外観

ラピオ4階候補場所(現市民ギャラリー)



市民ギャラリー

1. 基本情報の整理

(3) 周辺環境

候補場所であるラピオは、小牧駅から徒歩で5分程度、市内巡回バスのバス停も建物近くにあり、交通の便が良い場所です。また図書館が隣接し、ラピオ内にも「まなび創造館」「こまき市民交流テラス」や「えほん図書館」「こまきこども未来館」等の施設のほか、飲食店等があり、多世代の人が集まるエリアです。さらに関連施設の小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館(れきしるこまき)へは市内巡回バスで4停留所程度の好立地です。

ラピオ周辺地図



市内巡回バスルートと停留所



1. 基本情報の整理

(4) ラピオの概要

ラピオ内施設とその概要

| 階 | 施設と概要 | 運営母体 | 主な利用者 |
|----------|---|------|-------------|
| 5 | こまき多世代交流プラザ 「まなび創造館」 ・女性センター 9:30～21:30 あさひホール(310席)貸出 利用料、機器貸出有り ・スポーツ広場 9:30～21:30 トレーニングジム、スタジオ、アリーナ 各利用料有料 | 市 | 多世代 |
| 4 | こまき多世代交流プラザ／ラピオ専門店街 「まなび創造館」 ・学習広場(多目的室・学習室 市民ギャラリー) 9:30～21:30 貸出利用料有り ・えほん図書館 9:30～17:30 絵本や紙芝居が45,000冊が揃う図書館 利用料無料 ・こまきこども未来館 ニコニコひろば 10:00～16:30 児遊ひろば 10:00～18:00 大型児童館 市内在住者 無料 | 市 | こども (親子) |
| 3 | こまき多世代交流プラザ ・こまきこども未来館 遊びひろば 10:00～18:00、 体験ひろば 10:00～19:30(中高生) 大型児童館 市内在住者 無料 ・子育て世代包括支援センター 9:30～16:30 ・小牧市少年センター 相談時間 火～日 9:30～12:00／月・祝 13:00～17:00 | 市 | 小・中・高生 |
| 2 | こまき多世代交流プラザ／ラピオ専門店街 ・こまきこども未来館 交流ひろば 10:00～20:00 大型児童館 市内在住者 無料 ・こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」 NPO こまき市民活動 ネットワーク 月～土 10:00～21:00／日 10:00～17:30 市民活動の支援、マッチング等 ・ラピオ専門店街 10:00～20:00 | 市 | こども (親子) |
| | | 指定管理 | 大人 |
| 1 | 食品のフロア 10:00～19:00、10:00～20:00 ※店舗による | — | 大人 |
| B1 B2 | 市営駐車場(415台収容) 7:00～22:00 | 市 | — |

ラピオビルは中心市街地にあり、食品フロアや専門店街などの商業施設、また、こまきこども未来館やこまき市民交流テラスなどがあり、多様な世代の来訪が期待できます。さらに、ラピオの4階は、こどもを対象とする施設が多く、えほん図書館など連携を組みやすい施設があるため、(仮称)歴史民俗資料展示施設の設置により、未来の小牧を担う子育て世代(こどもを含む)に小牧市の歴史を知ってもらう機会を提供できるとともに、4階全体としてのさらなる活性化が期待できます。

また、4階は学習室や多目的室などの貸しスペースもあることから、定期的に展示を拡大する事ができ、(仮称)歴史民俗資料展示施設に展示しきれない多くの貴重な資料や、発掘調査の最新情報を公開できる有効な場所です。

2. 展示施設コンセプト

(1) 上位概念

(仮称)歴史民俗資料展示施設が市の施策のどの一端を担うのか、その役割を確認します。

1) 小牧市まちづくり推進計画

市が目指す「都市ビジョン」達成に向け、小牧固有の歴史・文化遺産を保護・保存・活用していきます。



2) 小牧市教育大綱

都市ビジョン実現のために、小牧市教育大綱では「郷土の歴史を礎に、市民とともに愛と夢、生きる力を育む」を基本理念に、8つの基本方針を掲げています。当施設は基本目標8「郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承」を担い、歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用、地域資源を生かしたふるさと学習の推進を目指します。

基本目標8 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承

【主な取組】

施策33 文化財の保護

- 埋蔵文化財の調査・記録保存
- 文化財の修理等への必要な助成

施策34 歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用

- 古文書・歴史に関する講座等の開催
- 民俗資料の整理・活用
- 文化財の紹介

施策35 史跡小牧山の整備・活用

- 史跡小牧山主郭地区整備基本計画の推進
- 史跡小牧山の歴史的価値や魅力の啓発

施策36 地域資源を生かしたふるさと学習の推進

- 郷土教育・ふるさと教育の推進
- 文化財啓発イベントの開催

施策37 市民との協働や大学と連携した歴史・文化の継承活動の展開

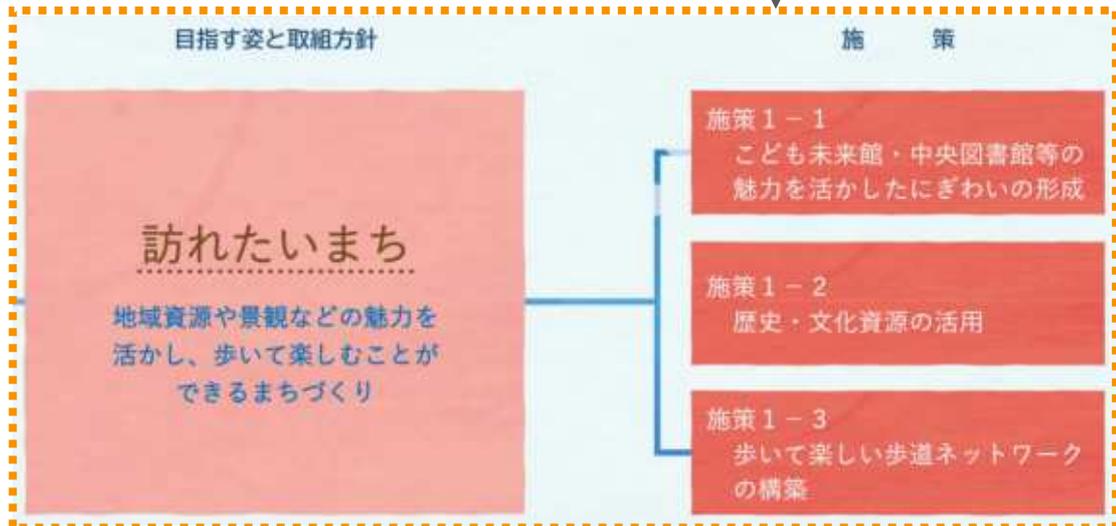
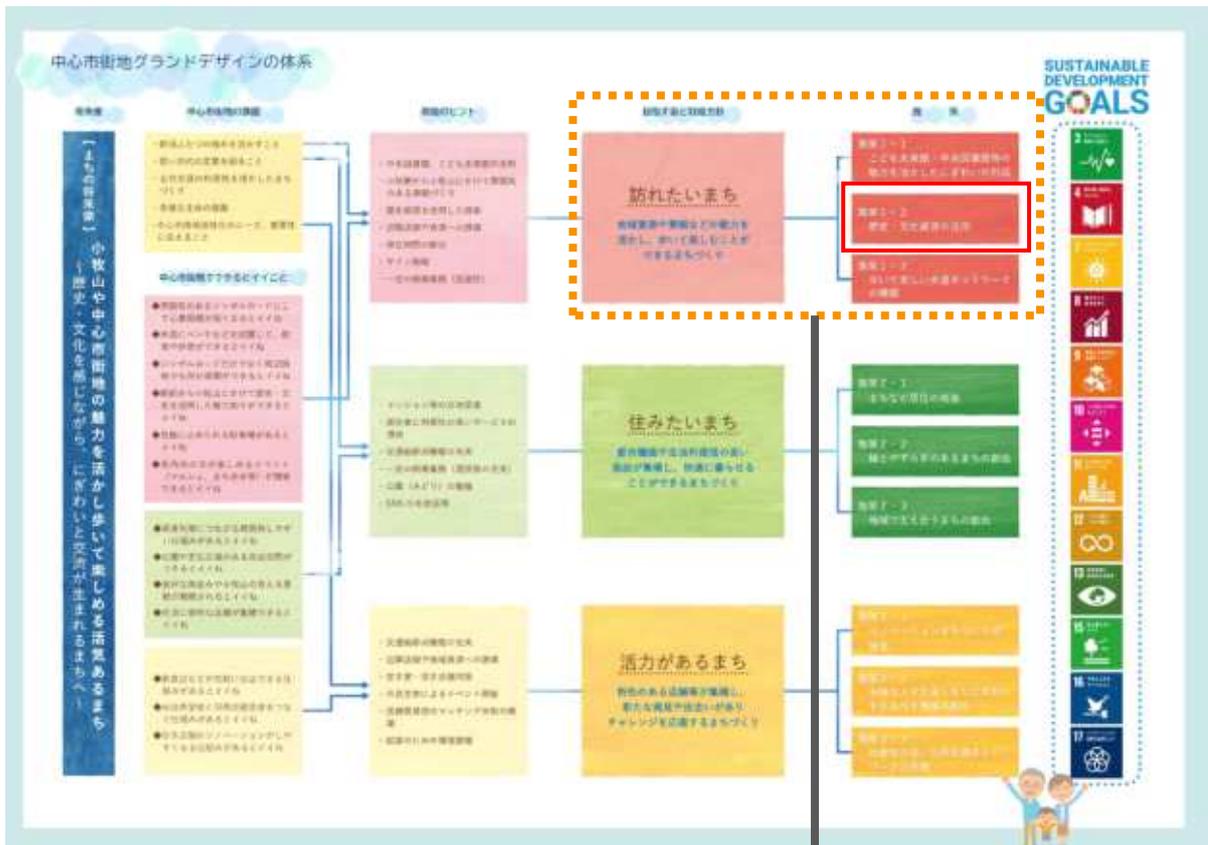
- 地域の伝統文化・伝統芸能の継承・保存
- 歴史ガイドボランティアと連携した展示資料・文化財等の解説



2. 展示施設コンセプト

3) 中心市街地グランドデザイン

歴史・文化資源の活用を通して、まちづくりにも貢献していきます。



2. 展示施設コンセプト

(2) ターゲット

メインターゲット



小牧市の歴史に触れてみたい人(市民)

サブターゲットは



市外からの来訪者

施設の目的を達成するために、多くの市民(子どもを含む)に、小牧の歴史と文化に触れてもらい、興味を持ってもらいます。自分たちの足元にある脈々と続く人の営み、身の回りにある他に誇れる小牧の文化財に気づいてもらい、郷土愛が育まれる基盤を作っていきます。また、市外からの来訪者にとっても、小牧がどのような場所であったかを分かりやすく端的に伝えられる場とします。

(3) コンセプト

「こまき」の「スゴイ」を発見！

「歴史=年号を覚える。」という苦手意識を払拭し、自分たちが暮らす小牧の歴史の凄さを体感的に伝えます。当時を彷彿とさせる遺跡、史跡のスケール感、そこに生きた人々の痕跡を実物の資料とともにストーリーとして伝えていきます。「こまき」の「スゴイ」にだれもが気づく場とします。

(4) 基本方針

○ 実物と出会う機会とする

歴史施設ならではの「実物が見られる」という、貴重な体験を提供する。
実物資料を通して、歴史は実際にあった事、実際に生きていた人たちが今に繋いだ物語であることとして捉えてもらう。

○ 「モノ」「コト」に潜むストーリーを伝える

実物資料や遺跡などを、単なる紹介に留めず、その裏にある情報を伝えていく。
歴史を結果として捉えるのではなく、さまざまな事象からなりたっていることを、分かりやすく、興味を惹く手法で伝えていく。

○ 周辺施設と連携し、歴史・文化と出会う場を広げていく

広く小牧の歴史・文化を市民および未来を担う子どもたちに伝えるために、周辺施設と連携し、当施設から歴史・文化に出会う場を広げていく。

3. 整備方針

(1) 改修の方針

市民ギャラリーから展示施設への改修を行うにあたり、改修方針を以下のとおりとします。

○ 安全に配慮する

大人も、こどもも、シニアも、誰もが安心して歴史と出会い、楽しめる場とするために、素材や形状に配慮し、安全に過ごせる場としていきます。

○ 資料展示施設として、防犯・防火に配慮する

小牧市に残る貴重な実物資料を展示する施設として、防犯・防火に配慮した素材選定や施工方法を検討していきます。

○ 既存設備は可能な範囲で活用をする

環境配慮への観点から、展示内容により既存部分の活用場所は異なるが、可能な範囲で既存の造作、設備を有効活用していきます。

(2) 改修の概要

○用途変更は無し

○建築関連

- ・ 周壁はそのまま使用し、グラフィック等での演出を検討する。
※展示プランにより、一部扉開口部分を改修する可能性あり。

○電気・照明

- ・ 電気容量等は問題ないため、現状の配分のまま使用。
- ・ 照明は配線ダクトがLED仕様ではないため、LED用のダクトに交換。
- ・ 照明器具はミュージアム仕様のLEDスポットライトに交換。

○空調設備

- ・ 現状のまま使用。

○防火設備

- ・ 現状維持を基本とする。
※展示プランにより誘導灯、自火報の移動の可能性あり。

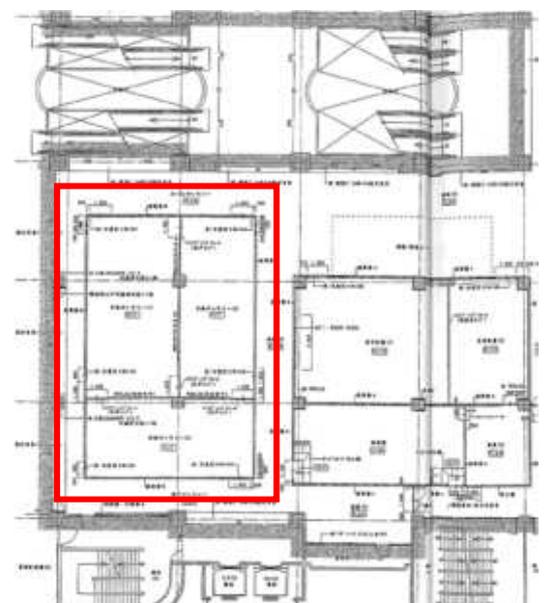
○資料保護設備(防犯・防火)

- ・ 扉を耐火仕様に改修(鍵も防犯に強いものに変更)。
- ・ 資料はケースにて展示(ノンエアタイト)。監視カメラの設置、有人での対応は検討中。

現状:ラピオ

- ・ 開館時間中は共用部の巡回警備。閉館後は機械警備。
- ・ 市民ギャラリー四周壁は1時間耐火の不燃材。
- ・ 延焼を防げる。消化設備はスプリンクラー。

市民ギャラリー平面詳細図



4. 活動方針

(1) 施設活動（案）

（仮称）歴史民俗資料展示施設の目的達成のために必要な施設活動を以下に示します。

施設規模や連携先との今後の調整やコスト面等の諸条件で取捨選択をし、当施設にふさわしい活動を検討していきます。

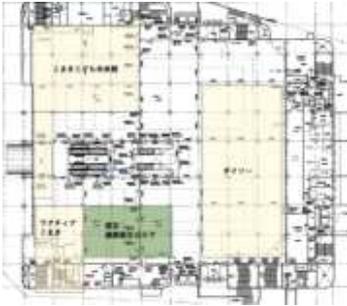
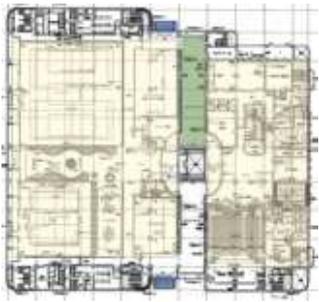
| 項目 | 内容 | 区分 | 備考 | |
|--------|--|--|--------------------|--------------------|
| 展示活動 | 常設展示 | 市内に残る貴重な資料を公開するとともに、小牧の歴史・文化的特徴を伝えます。 | A | — |
| | 展示更新 | 年に2回程度の資料更新を実施。資料保護の観点、飽きの来ない展示とするために、公開する資料の入替を行います。 | B | 学芸員およびそれに相当する人 |
| | 展示解説 | こども用解説シートの作成・更新。こどもには、疑問をなげるシートやクイズシートを用意し、そのシートは定期的に更新します。 | A | |
| | | 大人用解説の更新。大人には、QRコードや既存の解説ソフト等を使い、より深い解説を提供します。研究が進んだり、新たな発見があった場合には内容を更新します。 | A | |
| | 展示見学サポート。展示の楽しみ方や見方、シートの使い方などを促したり、疑問を投げかけたりします。 | A | | |
| 体験活動 | 講習会やWSの実施。長期休暇時や土日などに展示説明ツアーや遺跡の解説などを行い、この施設をきっかけにより多くの人に小牧市の歴史・文化を知ってもらう機会を増やします。 | B | ボランティアや活動団体との連携が可能 | |
| | 展示室内で、簡単にできるWSを用意。数分で出来るもの、時間が少しかかるものなど、こどもの興味に合わせた体験が提供できるようにします。 | B | | |
| 連携活動 | 館内連携 | ラビオ内「まなび創造館」「こまき市民交流テラス」「こまきこども未来館」「えほん図書館」と連携した企画展示を行います。 | B | 学芸員およびそれに相当する人 |
| | 関連施設連携 | 「小牧山歴史館」「れきしるこまき」等と連携し、周辺地域の回遊を促す周遊バスを発行します。 | A | — |
| | | 「小牧山歴史館」「れきしるこまき」等と連携し、市内回遊を促すスタンプカードの発行、解説付き周遊ツアー等を実施するなど、連携活動を提案実施します。 | B | ボランティアや活動団体との連携が可能 |
| | | 「中央図書館」内郷土資料エリアや1階イベントスペースでの連携展示を実施します。 | B | |
| 学校連携 | 学校利用に対しての学習シートや体験WSを用意します。 | B | 学芸員およびそれに相当する人 | |
| (販促活動) | 多くの人に何度も訪れてもらうためのツールの発行やイベント・WSを実施します。 | B | 学芸員およびそれに相当する人 | |

区分凡例 A:オープン当初より実施 B:数年後の実施を目指す C:実施しない

4. 活動方針

(2) 館内展示場所と連携展示テーマ例 ※緑の範囲が連携展示エリア

ラピオにはさまざまな施設があり、大人からこども、中学生・高校生と様々な人に利活用されています。(仮称)歴史民俗資料展示施設だけでは語りきれない、民俗や発掘調査報告、季節や祭り等に関連する企画展などは、ラピオ館内の連携により、多くの人に小牧の歴史を伝えていきます。

| | 連携展示場所(案) | 連携先と業務内容 | 連携展示内容(案) |
|----|---|---|--|
| 2階 |  | こまき市民交流テラス 「ワクティブこまき」 市民活動団体への助言・サポート、市民活動、ボランティア活動、地域活動、生涯学習の情報発信や連携を図る施設 | 「ワクティブこまき」北側空きスペースを利用して、企画展示を行います。 <展示内容> ・発掘調査報告展示 ・民俗資料展示 など ※ワクティブで連携できる活動団体等をマッチングしてもらい「マッチング展示」なども可能と思われます。 |
| 4階 |  | えほん図書館 乳幼児から小学校低学年向けの絵本、紙芝居がある。 約45,000冊 | 4階はこどもを対象とした施設が多い。えほん図書館と繋がる廊下、多目的室前の広いスペースを使い、こども向けの展示をします。 <展示内容> ・月1回絵本を選定し、それにちなんだ展示をする。 (例) ○衣食住に関連する展示 ○動・植物、怪獣・おばけに関連する展示など |
| | | こまきこども未来館 大型児童館。3層を使ったネット遊具、ものづくりや音楽など様々な事ができる施設 | |
| 5階 |  | 小牧市まなび創造館 女性センター スポーツ広場 ホールや研修室・料理室・和室等の各種貸室、バレーボールコートやアリーナ、トレーニングジム・フィットネススタジオなどがあり、様々な活動に利用できる施設 | 5階のセンターモールは、廊下の突き当りの大きな窓から、小牧山と小牧山城が望める絶景ポイント。スポーツや観劇など大人が集まる場所でもあるため、大人向け、小牧山、小牧山城に関連した展示をします。 <展示内容> ・城下町に関連する展示 ・信長・家康に関連する展示(小牧山城の歴史館と連携) |

【2階】ワクティブ前スペース



【4階】学習室前の廊下



【5階】センターモール



5階の窓から見える小牧山



5. 管理運営方針

当施設の目的、コンセプト等を実現するための運営方針について、下記の方針を基に検討を進めます。

(1) 管理運営形態

当施設の運営は、直営方式、指定管理の2種が考えられますが、施設の面積や費用対効果の観点から、市直営を原則とします。

※ 指定管理での運営とした場合は、施設規模が小さく、当施設単体での運営は受託者のメリットは得づらいため、小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館(れきしるこまき)、小牧市創垂館などの類似施設と併せての運用などを検討する必要があります。

(2) 人員配置

防犯・安全性やコスト面、展示内容・活動の充実、来館者サービス等、多方面から検討をした結果、人員配置による管理運営が望ましいと考えられます。

人員が配置される事により、管理面だけではなく来館者対応として小牧の歴史を知ってもらうためのサポートも可能となり、目標である市民交流、郷土愛・シビックプライドの醸成に寄与することができます。配置にあたっては、費用対効果を十分に検討した配置とする必要があります。

(3) 入館料

入館料は無料とします。

有料とした場合の設備費や施設活動面など多方面から比較検討すると、当施設では無料が相応しいと考えられます。

無料とすることで収入はなくなりますが、多くの市民や市外の方たちが入館しやすくなり、小牧の歴史を知ってもらう機会の増加につながります。

(4) 開館時間・休館日

当施設の開館時間と休館日は、ラビオ4階の他施設を基本として設定し、費用対効果を鑑みて、開館時間の延長・短縮や休館日の追加も検討します。